

学校における新たな社会教育への期待と展望

—社会教育主事基礎資格取得教員の経験から見えること—

社会教育士称号制度が始まり多様な分野での活躍が期待されている。大学等においてまちづくりや経済・経営系の学部等への社会教育主事課程の新設が散見されるようになっていく。

一方で、教育学部等における社会教育主事課程の設置率は低下している現状があり、あらためて従来からの「教育分野」における社会教育の真価とは何か問われている。

本研究会では、地域学校協働活動や社会教育主事基礎資格を持つ教員・教員経験者に焦点を当て、学校教育とのかかわりから社会教育への期待と展望を考えます。

記

日時 2021年3月13日（土）13：00～16：00

場所 オンライン開催（ズーム利用） ※参加方法は参加者へ別途お知らせいたします

プログラム（予定）

13：00 開会

13：05 基調講演 「地域学校協働活動の最新状況と今後の展望」

文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課 地域学校協働活動推進室 室長補佐
榎木 奨悟さん

13：45 話題提供1 「社会教育主事講習における学びの小学校運営への活用」

和泉市立北松尾小学校校長 石村 和彦さん

14：15 話題提供2 「社会教育主事経験の教員としての自己への影響」

大阪教育大学入試課 川端 康之さん

14：45 休憩

15：00 総合ディスカッション「学校教育における新たな社会教育への期待と展望」

16：00 閉会

総合コーディネーター 出相 泰裕（社養協理事・大阪教育大学）

司会進行 出川 真也（社養協研究担当理事・大正大学）

コメンテーター 榎村 愛子（愛知大学）

<参加申し込み>

3月10日までに下記にお申し込みください。参加方法に関する情報をお知らせします。

社養協事務局 E-mail shayosei@outlook.com